

平成28年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中澤 淳
全体計画	平成21年度 ~ 平成30年度			経費区分	実施計画事業費			内線	3258		
事務事業名	4134 広域ごみ処理推進事業										
所 属	140200 環境部・エコパーク推進課										
施 策	03011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費									
	事業	100000 広域ごみ処理推進事業									
事業目的						事業概要・効果					
衛生的な市民生活を維持するため、長野広域連合によるごみ処理広域化基本計画を推進し、確実に安定的なごみ処理を実現						長野広域連合として可燃ごみの広域化処理を行う。計画するごみ処理施設は、焼却施設2施設。最終処分場1施設。須坂市では最終処分場の整備を目指し、候補地の地元との協議を進める。ごみ処理を広域的に行うことにより、ダイオキシン類の発生抑制、処理の効率化及びコストの削減が図られる。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
A焼却施設は整備運営事業者の選定。B焼却施設は地元区と協議継続中。最終処分場は、地元区と建設に関する基本協定と併せて、地域振興事業等に関する協定を締結し、関係地権者対象の用地測量説明会と境界確認を実施した。	A焼却施設は整備工事開始。B焼却施設は地元区との協議を完了。最終処分場は地元区への施設配置の確認と地権者説明会を行い、施設用地を取得する。須坂市は地元振興事業について協議を進める。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由	ごみ処理施設の整備は、地元住民との度重なる協議の結果であり、成果は整備が出来たか出来なかったのみ。年度ごとの達成状況は事業の性質になじまない。						
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		73,122	50,838
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	499	1,820
一般財源		72,623	49,018
人員数 (人)	正規職員	1.8	1.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	1.2	0.2
人 員 コスト	正規職員	12,974.4	12,974.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	1,236.0	206.0
	計	14,210.4	13,180.4
市民一人当たりの経費		1.7	1.2
総額		87,332.4	64,018.4

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	18	講師謝礼、先進地視察手土産、土地借用謝礼
11節 需用費	199	事務用品、コピー代、車両燃料費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	70,659	長野広域連合環境推進費負担金
その他	2,246	臨時職員賃金、先進地視察旅費、車両リース料

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	266	講師謝礼、先進地視察手土産
11節 需用費	424	事務用品、コピー代、車両燃料費、先進地視察参加者用お茶代
13節 委託費	661	先進地視察業務委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	48,043	長野広域連合環境推進費負担金
その他	1,444	臨時職員賃金、先進地視察旅費、車両リース料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	長野広域連合の一員として、広域ごみ処理事業を推進する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	衛生的で快適な市民生活を維持するために、安定的なごみ処理は欠かせず、老朽化している施設の更新は大変有効な事業である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	施設の更新を単独で行うよりも、広域の枠組みの中で施設の更新を行った方が、技術的・コスト的にも効率性が向上する。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地元区と最終処分場建設に関する基本協定と併せて、地元振興事業等に関する基本協定が締結された。また関係地権者への用地測量説明会と境界確認が実施され、着実に事業を進めている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>地区区への丁寧な説明により、昨年12月に施設建設に関する協定、地元振興に関する協定が締結された。用地取得に向け、引き続き丁寧な説明と対応が重要になる。また、基本設計完了に向け、地元要望を踏まえた計画作成が必要である。</p>		<p>7年の歳月をかけて注力して来た地元協議が実り、施設建設に関する基本協定等を締結することができた。28年度は、残る重要課題である用地取得を確実に進めるとともに、仁礼区と協力して地元振興事業の具体化に向けた検討を進める。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	